

向茂組 | 愛知川プラント



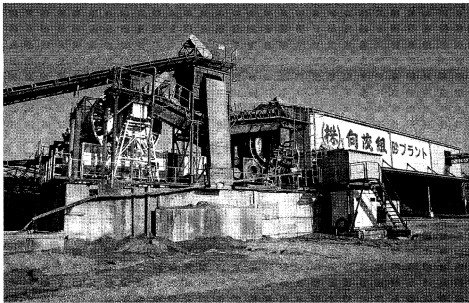
大規模投資し年産40万トンを体制に

工場データ
 所在地: 滋賀県東近江市 五個荘小幡町26
 敷地面積: 12万3千㎡
 社員: 15人
 (プラント事業合計)

滋賀県最大規模の骨材工場を展開する建設会社向茂組(むしげぐみ)が、本社・滋賀県東近江市・土木・建築工事業と並行し愛知川(えちがわ)プラントで骨材を生産、長谷野(ながた)にのプラントで埋戻材等の生産や建設発生土の受け入れ等を行う。愛知川プラントは近年の大規模投資により石灰石骨材と天然骨材合計で年産40万トン体制を構築。湖南(大津)、湖東地区のコンクリート用骨材需要を支える。向春美代表取締役社長に愛知川を中心にプラント事業の概況を聞いた。

21プラント3基設備

向茂組は元々先代の向茂夫会長がタンの個人事業主で創業し、1970年代に建設会社事業を譲受、1980年に社名変更して本社を現所在地に移転した。愛知川プラントは約20年前に旧武蔵野川から事業を譲り受け、2000年代に自社で採掘する陸砂利原石からの天然骨材の生産に加え、住友大阪セメントグループの滋賀産・多賀鉱山(犬伏郡多賀町)の石灰石原石を仕入れ、石灰石骨材の生産に着手。琵琶湖の湖中砂の採取禁止による細砂の代替需要にも対応し、ホールドミルを順次導入し、石灰砕砂と陸砂の増産



細目、粗目の石灰砕砂を製造

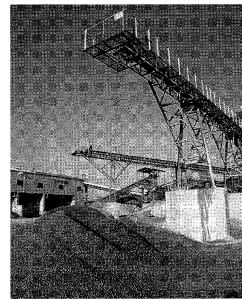
「レクセル E N B 24」を3基備し、3種類の粗粒率(FM)の細骨材(石灰砕砂・陸砂)を年間20万トン前後製造する。

設備投資のこれまでの変遷は、06年に第一プラントを全面改修し14年に石灰石骨材の増産ラインを設置。19年に増産ラインに自走式破砕機「クリマン」を導入した。18年に残土リサイクルプラントを全面改修し、陸砂利原石用の第二プラントとする。同時に、ホールミルを導入し、砂中心の製造設備にしている。

一方、陸砂採取については「骨材原石を仕入れのみに依存する」のはリスクが高いことから継続していき、プラント周辺の宅地化で好条件の農地が減少しており、賃借だけでなくグループの農業会社で細分化した農地を購入して拡大し、砂利採取用地として活用している。採取はプラント近郊の旧八日市町・現在の東近江市で行い、敷地面積は平均2万㎡、掘削深は約5mである。

粒形改善による品質向上を実現している。「建築向けを扱う湖南地区の生コン工場を中心に石灰石骨材のニーズが高まっていったため石灰石を仕入れ加工することにした。当社全体で品質への意識を高めたい」との意向があり、ユーザーの要望もあって石灰石骨材は08年に「S A5005(コンクリート用砕石及び砕砂)」の認証を取得し、ユーザー8尺の大型ホールミルの開拓に力を入れている(向社長)。

事業譲受以降現在まで約20年の間に従来からの「第二プラント」をリニューアルし、「第一プラント」を新設。同一プラントで原石の異なる種類の骨材を製造し切り替えるに手間がかかり生産に制約があったことから、第一で石灰石骨材、第二で天然骨材を生産する2プラント体制とした。主要設備として「セル付リット用砕石及び砕砂」の認証を取得し、ユーザー8尺の大型ホールミルの開拓に力を入れている(向社長)。



石灰石砕石・砕砂はJIS認証を取得する

- 骨材生産プラント設計・施工
- 窯業生産プラントの設計・施工
- リサイクルプラントの設計・施工
- 公害防止設備・環境関連機器
- プラント用機器及び部品
- プラント改造及び修理
- 簡易型集塵機スーパーダストマン



向茂組



名機産業



We love earth

これからもお客様ののために 未来のために

破砕・選別・リサイクル設備の総合プランナー



名機産業株式会社

- 本社・名古屋営業本部
愛知県春日井市勝川町西 2-21
TEL 0568-35-0555
- 静岡支店
静岡県葵区岳美 20-33
TEL 054-246-9376
- 高山営業所
岐阜県高山市岡本町 2-1-8
TEL 0577-33-4741